

2026年度入試説明会

開催日時	第1回：5月20日(火) 17:30～19:00 第2回：6月11日(水) 17:30～19:00 第3回：6月28日(土) 10:00～11:30
開催方法	対面
開催場所・申し込み方法	目白聖母キャンパスで開催します。 事前の申し込みは不要です。

2026年度入学試験日程

web出願期間 出願書類提出期限	7月17日(木)～7月31日(木) 8月5日(火)書類必着
受験票公開(Web出願サイトマイページ)	9月5日(金) 10:00
入学試験日・筆記試験／面接	9月13日(土)
合格発表(Web出願サイトマイページ)	9月18日(木) 10:00
入学手続締切日	10月9日(木)

学費

参考：2025年度他校出身者(2026年度は未定)

費目	金額	摘要
入学金	200,000円	入学時のみ
在籍料	60,000円	年額
授業料	850,000円	年額
教育充実費	100,000円	年額
実験実習費	324,000円	年額
学生教育研究災害傷害保険料	800円	年額
計	1,534,800円	

受験生のみなさまへ

《教員メッセージ》

崎山貴代(教授)

少子高齢化の急激な進展、格差の拡大、家族・地域のつながりの希薄化など日本社会の課題は山積しています。それを受け、助産師は対象の多様化するニーズを理解して支援するとともに、日本社会のみならず世界の課題解決に向けて活動する社会的役割を担っています。自己を他者のために役立てることに信念と使命を感じている方と、ともに学びあえることを期待します。

《修了生メッセージ》

上野素実

私は本学の看護学科を卒業後、助産学専攻科に進学しました。周産期に関わる知識だけでなく、妊娠期から育児期にかけての支援やあらゆるライフステージにいる女性の支援、国際助産についてなど、助産師として働く上で必要不可欠な土台となる部分を学ぶことができました。また、自分で考え伝える力も身についたと感じています。課題や実習と忙しい1年でしたが、先生方や仲間のサポートもあり、充実した1年になりました。このような環境で学ぶことができ感謝しています。

お問い合わせ先

入試に関すること

上智大学 入学センター

TEL 03-3238-3517

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

<http://www.sophia.ac.jp>

入試以外のこと

上智大学 目白聖母キャンパス事務センター

助産学専攻科担当

TEL 03-3950-6151

E-mail mejiroseibo_academic-co@sophia.ac.jp

〒161-8550 東京都新宿区下落合4-16-11



・西武新宿線「下落合」駅より徒歩8分
・西武池袋線「椎名町」駅より徒歩10分
・JR「目白」駅より徒歩15分
・JR「目白」駅より、都バス[練馬車庫前 白61 または 池65] 行きで5分「聖母病院入口」下車。
・JR「新宿」駅西口より、関東バス[丸山営業所 宿02]行きで25分「聖母病院」下車。



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

叡智が世界をつなぐ

COURSE OF MIDWIFERY

助産学専攻科

1年課程

2026

志高く学びたいあなたへ

上智大学助産学専攻科 “リベラルアーツ”×“助産学”

総合大学の特色をいかし、さまざまな学問基盤を専門とする教員と
勉学・交流することで、支援者としてより豊かな精神基盤をもった
助産師となることを目指します。

専攻科概要

助産学専攻科は、上智大学総合人間科学部看護学科の
基礎教育の上に設置される1年課程の専攻科です。専門職
として自律する能力をもった助産師の育成はもちろん、
学際的視座から女性や家族の尊厳と権利を尊重する倫理
観を備えた人間教育を目指しています。

学びの領域

助産学 | 基礎領域

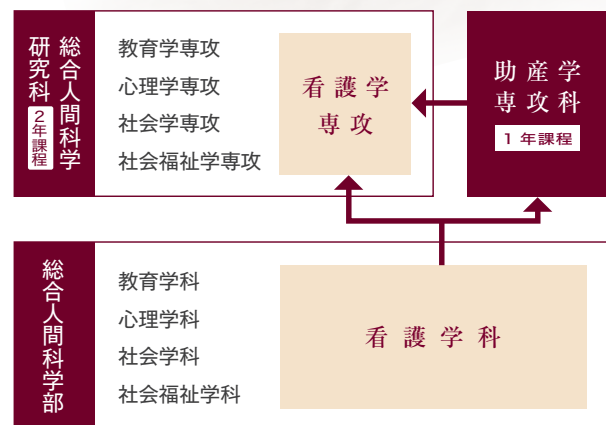
この領域は、専門職業人として骨幹となる助産に関わる事象に対する考え方、基本的な知識・姿勢を培う6科目で構成されています。本学では助産師としての基本的姿勢を学ぶために「助産学概論」に加え、キリスト教ヒューマンズムを基盤としたケアリング、倫理の学びを目的とした「ヒューマンケアリングと倫理」を設置しました。また、助産師が助産実践を展開する際の的確な対象理解のための科目として「母子と家族の心理」を、周産期領域の医学的知識を充実させるための科目として「周産期医学I(産科領域)」、「周産期医学II(小児科領域)」を設置しています。

助産学 | 実践領域

この領域は、周産期ケアならびにウィメンズヘルスケアの知識・技術を学ぶための17科目で構成されています。周産期における女性とその家族の支援に対する基礎能力の獲得は、助産師にとって重要と考え、周産期各期の助産診断・技術学を設置するとともに、確実な技術習得をするための演習科目「周産期技術学」「健康教育演習」を設置しました。また、本学は産むことだけではなく育むことを支援することが、助産師の重要な職能と考え、「乳児継続事例実習」を設置しています。加えて女性に寄り添う専門職である助産師として、女性の一生の健康を支援するための基礎能力を持つことは、周産期における助産ケア能力と同様に必須であるため、ウィメンズヘルス関連科目も周産期各期の助産診断・技術学の科目と同様に充実させました。

助産学 | 実践関連領域

この領域は、場に応じて助産を実践する能力の向上と対象者の安全を守り質の高いケアを提供する能力を向上させるための科目で構成されています。「国際助産学」では、グローバル社会に対応できる基礎力を培うため、開発途上国の女性と子どもの健康課題や助産師活動の在り方を学びます。



2025年度カリキュラム

※カリキュラム等の内容は予定であり、変更する場合があります。

科目区分	授業科目の名称	単位数		開講時期		修了要件
		必修	選択	春学期	秋学期	
助産学 基礎領域	ヒューマンケアリングと倫理	1		●		必修7単位
	助産学概論	1		●		
	周産期医学I(産科領域)	2		●		
	周産期医学II(小児科領域)	1		●		
	生殖遺伝学	1			●	
	母子と家族の心理	1		●		
助産学 実践領域	妊娠期助産診断・技術学	1		●		必修22単位 ＋ 選択1単位以上
	分娩期助産診断・技術学	2		●		
	産褥期助産診断・技術学	1		●		
	新生児助産診断・技術学	1		●		
	乳幼児助産診断・技術学	1		●		
	周産期技術学	2		●		
	健康教育演習	1		●		
	産褥期・新生児期実習	1		●		
	妊産婦継続事例実習	2		●	●	
	乳児継続事例実習	1		●	●	
	分娩介助実習	4			●	
	ハイリスク母子支援実習	1			●	
	助産所実習	2			●	
	女性のライフサイクルと健康	1		●		
	リプロダクティブヘルスサポート論	1		●		
助産学 実践関連領域	思春期支援論		1		●	必修5単位
	暴力・虐待防止論		1		●	
	地域連携実践論	2		●		
	助産管理学	2		●	●	
	助産学研究		1		●	
	国際助産学	1			●	

2025年度年間スケジュール

	春学期						秋学期										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
講義・集中実習日程	入学式	春学期講義及び試験				産褥期・新生児期実習	夏期休業	分娩介助実習 母子支援実習 ハイリスク			助産所実習	秋学期講義	冬期休業	秋学期講義	助産師国家試験受験	春期休業	修了式
継続事例実習	乳児継続事例実習																
	妊産婦継続事例実習（病院）																



2025年度実習施設

病 院

- ・聖マリアンナ医科大学病院
- ・東京医科大学病院
- ・東京都立大塚病院
- ・医療法人産育会 堀病院

助 産 所

- ・ウバウバハウス岡本助産院
- ・めぐみ助産院
- ・ファン助産院
- ・森田助産院
- ・八千代マタニティセンター 武田助産院



【修了生】